



交通栄誉章を受章

栗原地区地域交通安全活動推進委員の大黒昭夫さん(瀬峰下富)が、長年交通安全に尽力した人や、模範となる安全運転を続けている人に贈られる交通栄誉章のうち、緑十字金章を受章しました。
大黒さんは、安全運転に努め、50年間の無事故無違反を達成した他、栗原地区交通安全協会員として、交通安全活動に当たっています。
受章にあたり大黒さんは「非常に光栄。これからも細心の注意を払って、安全運転に努めたい」と、喜びを語りました。



栗原産仙台牛が学校給食に

3月6日(金)、北部学校給食センターが配食する小・中学校と義務教育学校の合わせて6カ所に、栗原産仙台牛を使用した牛丼を提供しました。
給食に使用した牛肉は、市内の和牛生産者などで作る栗原産仙台牛協会と栗原和牛改良組合が、地域の自然や食文化、畜産業への理解を深めてもらおうと提供したものです。
今回の配食先の金成小中学校では、この日を心待ちにしていた児童たちが牛丼を笑顔で頬張り、栗原の恵みを堪能していました。



栗原の未来をみつめて

2月22日(日)、イオンスーパーセンター栗原志波姫店で、栗原市総合計画シンポジウム「みんなでつくるくりはらの未来」を開催しました。
この催しは、現在策定中で、令和9年度からの10年間の市のまちづくりの指針となる「第3次栗原市総合計画」を、市民と共に考え、自分事として捉えてもらうことを目的としています。
当日は、高校生7人によるワークショップの成果発表や、パネルディスカッションなどを実施し、活発な意見交換を行いました。



栗原の神楽を体験

2月15日(日)、栗原文化会館で「神楽ふれあい教室」が開催されました。
この催しは、栗原市神楽保存伝承協議会が栗原の伝統芸能である神楽に親しんでもらい、後継者を増やそうと開催したものです。
「鶏舞入門講座」と題した今回は22人が参加し、鶏舞の実演を見学した他、振り付けや、太鼓などの演奏を体験しました。また、参加者は、最初は慣れない動きに苦戦したものの、見る見る上達し、神楽の奥深さに触れる時間を過ごしました。

長寿100歳 おめでとうございます

大正、昭和、平成、令和。
激動の4つの時代を駆け抜け、思いを紡いで1世紀。
100歳の誕生日を迎えた4人を紹介します。



うみやま ひろお
海山 英夫 さん
(若柳新山)

手先が器用で、絵画や彫刻に親しんでいる海山さん。長生きの秘訣は「自分のペースで過ごすこと」で、時代劇鑑賞や絵画の制作の他、温泉旅行を楽しみながら、日々元気に過ごしています。



ちば まつぞう
千葉 まつぞう さん
(栗駒東方区)

若い頃、美容師としてひたむきに仕事に打ち込む日々を過ごした千葉さん。
現在は、高齢者福祉施設に入所していて、利用者の皆さんと元気に楽しく過ごしています。



おかもと むつこ
岡本 睦子 さん
(瀬峰宮小路原)

子育てに励み、2人の子どもを育て上げた岡本さん。
動物が大好きで、猫と犬をかわいがってきました。
現在は、楽しく穏やかな日々を過ごしています。



みさお ちよこ
操 ちよ子 さん
(高清水3区)

大崎市田尻地区出身で、高清水地区に嫁いだ操さん。米と葉タバコの栽培で生計を立てながら、3人の子育てに励みました。
現在は、健康で穏やかな日々を過ごしています。



ひな飾りが街を彩る

2月27日(金)から3月3日(火)までの5日間、栗駒地区のみちのく風土館をメイン会場に「第26回くりこま商家のひな祭り」が開催されました。
この祭りは、栗駒地区の商店街のにぎわいづくりを目的に、桃の節句に合わせて開催されているものです。会場には、地元の女性たちが手づくりしたつるし飾りや、商家に代々伝わるひな人形が飾られ、訪れた人たちは1つ1つじっくりと鑑賞していました。



琵琶の幽玄な世界に浸る

2月22日(日)、栗原文化会館で、栗原ドリームアンバサダーで琵琶奏者の熊田かほりさんによる、琵琶コンサートが開催されました。
当日は、満席となる約千人が会場に詰めかけ、観客から「お帰り」という、温かい声援で迎えられた熊田さんは「平家物語」の祇園精舎、敦盛などを披露しました。最後は、栗原が舞台の宝亀の乱を題材に、自ら作詞作曲した「伊治城物語」を演奏し、物語の情景が目に見えがよくなる琵琶の演奏と、圧倒的な歌声に、観客は心を揺さぶられました。